

After a storm
comes a calm.
(雨降って地固まる)

Triangle

令和3年 4月23日
富江中学校 第2号
校長 山上 福範

始業式② 4/6(火)

★「大きな壁を乗り越えるために」

3年 濱口

今日から、2年生は中堅学年、3年生は最高学年として、入学してくる1年生をリードしていく立場となります。特に最高学年として、私たち3年生が果たす役割は大きいです。そんな私たちには1つ、1年間の抱負があります。それは「悔いを残さない」ということです。理由は2つあります。

1つ目は、部活動の引退があるからです。約2年間部活動に取り組んできました。上手くいかなかった時もたくさんありました。しかし、仲間と1つの目標に向かって打ち込む素晴らしさを学ぶことができた気がします。ただ、引退の日も近づいてきました。これからは、先輩方から頂いた助言を後輩へ伝え、部活動の活性化に努め、少しでもよい成績を残せるよう頑張ります。

2つ目は、来年には受験があるからです。自学の提出率も低く、勉強に意欲的でない生徒もいます。3年生になった今でも「勉強したくない」と思っている人もいるでしょう。しかし、受験生となり、そんな甘い考えも通用しなくなりました。高校受験は自分の人生を大きく左右すると言っても過言ではありません。受験勉強を始めるのに遅いはあっても、早いはありません。希望する高校へ

進学できるように、今から受験生という自覚をもち、互いに切磋琢磨しながら生活していきます。

早くも中学校生活が3年目を迎えました。「悔いを残さない」という抱負を成し遂げることができるよう、充実した日々を過ごし、中学校生活が有意義なものとして終わるようにします。

トミーちゃん



本校は、自分の考えを相手にわかりやすく「伝える力」を伸ばすことに取り組んでいます。そのイメージキャラクターがトミーちゃんです。

2年生がデザインを、卒業生親子が複数のデジタル画像化を担当してデビューしました。



富江の魅力の1つであるトマトをモチーフに、伝える際に不可欠な笑顔にジェスチャーや指示棒が加わった上、富江とトマトの「T」がトマトカラーで表現されています。

トマトに含まれる効能成分リコピンによって明るく元気に思いを伝える姿をイメージしながら、富中生は伝える力を高める活動をトミーちゃんと一緒にしていきます。

有効なネット利用を

2020年度の内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」の結果を紹介します。

★ネット利用の中学生の割合
97.4%

★中学生の利用機器
スマホ67% タブレット37.5%
携帯ゲーム機35.6%

★1日当たりのネット利用時間
3時間19分
(中学生の52%が3時間以上利用)

★10～17歳の利用内容(1日あたり)

	18年度	20年度
趣味・娯楽	105分	→ 126分
勉強・学習	35分	→ 37分

以上のことから

- ①睡眠や家族の会話、家庭学習等の時間減少が心配です。
- ②ネットの長時間利用→睡眠不足→起床が遅い→朝食抜き→授業に集中できない→成績が落ちる・・・の悪循環による気力・学力・視力低下が心配です。

ネット本来の便利で有効な使い方や使う時間について、ご家庭で話題にしてください。

行って来ました！

3年生が14(水)～16(金)修学旅行に行って来ました。西海橋の渦潮や針尾無線塔の迫力に驚き、川棚戦時遺構では人間魚雷という人を人とも

も思わない残虐な命令が出された戦争の悲惨さを思い知らされました。2年もの間、戦争中に子供達が掘り続けた無窮洞(地下教室)でも、平和の尊さが身に染みしました。

ハウステンボスではホテルのコンシェルジュから、講話の中で「ふるさとの良さを知っていますか？」という問いかけがあり、ふるさとを知ること、ふるさとを語れることの大切さに気付かされました。

日本遺産「三川内焼」の透かし彫り体験では、約1時間、全員が無言で作品づくりに集中しました。

森きらら(動植物園)では、飼育員の方から、動物の状況に合わせた飼育や健康管理の方法を学びました。

海きららでは、前後に乗り込んだ2人が、息を合わせてシーカヤックを体験しました。

自分で起きる、感謝の心で食事をいただく、着替えや身のまわりの物を自分で片付ける、自分から挨拶する、相手に敬意を払う・・・など、3日間を通じて考えたり学んだりしたことを今後に生かすことが、修学旅行の重要ミッション(指令)です。

3年生の「アフター修学旅行」に注目です。

1学期学級委員

1学期の学級リーダーは、以下のメンバーです。

- ★3年 富永 松倉
- ★2年 福山 芳野
- ★1年 川崎 尾崎

リーダーを中心に自ら動き、仲間を思いやり、互いに高め合いながら、より良い富中を「創って」いきます。